

究、六條學報、中外日報、宗教の藝術、民衆公論、文藝通報、中央佛教、佛教俱樂部、清流、文化生活等である、斯く内外に亘つて居るからには圖書室のみに於ても、一角のもの知り成り得ると思ふ大いに勉強してくれ給へ。(赤董)

運動部から

新しい時代を造るには、新しい活動が必要である。新しい活動の盛んな國は、いつも新しい方面に發展しつゝある國である。それと同様に、運動も又時代と共に歩調をそろへて進む可きものである。故に新しい時代の新しい運動は、其の時代を形造る處の人間の力強い心の發動である。

近時吾國に於て各種の運動が、世界の先進國に互して進歩しつゝある事は、國際的にも、社會的にも、將又國家隆盛の上から云つても、眞に喜ぶ可き現象である。「健全なる精神は健全なる身体に宿る」此バナードシヨウが云つたように、如何に高遠な理想、抱負を以てゐても、それに伴われない肉体を持つてゐては、到底現實への道程に登る事は出来得ない。云ふ事は自明の事である。

吾々青年宗教家の卵子が將來自覺せる宗教家の一員として、複雑な社會の表面に立ち、混沌として渦巻き流る、思想海に浮沈しつゝある時代の人心を救濟するには、自分自ら其の渦中に拔手を切つて進んで行く。云ふ覺悟がなからればならぬ、其の覺悟である以上、身體の強健。云ふ事は片時も忘却してはならぬのである。此の意味においてか、吾祖山學院にも近頃非常に運動熱が頭を擡げて來た。云ふ事は當部に於て最も喜びとする處である。□各部の中でも劍道部

が一向振はないのは残念だ、それには、こゝした靈山に餘り烈しい擊劍の音がするのほどうかしら……云ふ懸念もあり、一つは時代思潮の餘波が此の山の奥にも流込んでゐるせいでもあらう、周圍の事情や環境に支配される必要はないから遠慮なくやつてもらいたい。

□弓術部の方は反對に非常に盛になつて來た、大正の奈須與一を以て自任してゐる連中が廿人以上も居るから素晴らしいものだ、何時行つても五七人引張つてゐない時はない、それ云ふのは以前の矢場のように矢の藪入の慮ひが全然なくなつたのだ、地方に弓術が盛になり競技に出かける者が多くなつて來たせいでもあらう。カラリと晴れた青空の下で滿月の如く張つた弓の矢が弦を離れた瞬間、靜かな空氣の中を直つしぐらに、的に當つた刹那は、若い青年の血潮に詩的なさうして何と云へないテリケートな氣分を起させるからナア。□庭球部は何と云つても、吾運動部のオーソリテイだ、毎日白熱的な猛練習を續けてゐる、シングルもやればダブルもやる、殊に昨春以來峽南庭球大會が所々に開かれ、其の都度出馬するようになってから一増猛烈になつて來た、が目下廿人餘りのプレーヤーの専有物かのようになつてゐるが、これから未熟者もドシ／＼やつてもらいたい。球拾ひの半年もやつてゐる間には少しはウマクなる。兎に角毎學期一回宛の弓術及び庭球の大試合が一回毎に盛大になり且つ技術が熟達してゆくのは喜ばしい、本年度の初試合までには第二コートは是非完備するつもり諸君の努力を望む。□五月廿四日會則第十條に準じて五泊四日間の豫定で中山、東京、日光方面に修學旅行に出かけた(別記事参照)十月廿七日には、學制令發布第五十記念の陸上大運動會が開催された、式後直に運動にかゝつた、時に九時

秋晴れの空は飽くまで高く澄渡つてゐて、時々思出したように眞白い斷雲が浮遊してゐた、四方の山山はすつかり秋のよそほをして、雨上りの地面は麗かな朝の陽を受けて軟かい地の香を放いてゐた、高二より成る音楽隊の一段高い所から奏するオーケストラは、靈山の朝の空氣の中に大きな破紋を起して、當日の運動氣分をいやがうえにも喚起した、こゝした雰圍氣の中にユニフォーム姿りりしく吾祖山の健兒は吾れを忘れて飛んだり跳ねたり轉んだりして眼新しい競技はプログラム通り、次ぎ／＼に進行して行つた、午前中は観客も少なかつたが、一時二時頃はさしもの運動場も立錐の餘地無きまで押寄せて來た、附近の二三小學校からも先生達も引率のもとに數百人の生徒が一方に陣取つてゐて種々面白い遊戯をして観客を喜ばせた。會報係りから廿分毎に發行される記事が慢畫印象の臍をヨラせてゐた。運動が終る頃には短かい秋の陽は西の低い山の端にかくれて、遠くの山山から夕闇がのぞいてゐた、斯くして運動會も盛大裡に終了し、運動部長發聲のものに萬歳三唱して開散した。

お、樂しかりし秋の一日よ!!

終りに望んで會友諸兄に希望す、純な清い信仰と理想を於ける諸君等よ!! 大に學び大に運動し、天晴未來の大宗教育家たらん事を。(冷涙生)

